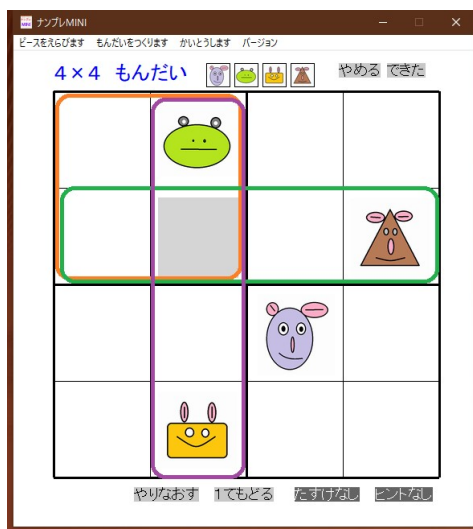


ナンプレ MINI の解き方

下図のカーソルはオレンジ色で囲まれた区画と緑色で囲まれた行および紫色で囲まれた列に属します。

ナンプレ MINI のルール

盤面上に 4 個ずつ存在する区画・行・列 それぞれに 4 種類ずつのタイルが入るように盤面を埋める。



すなわち、区画・行・列 はそれぞれ 4 個のマス目で構成されるので 1 種類ずつのタイル 4 枚で埋められるといえます。

左図の場合で説明するとカーソル位置に入るタイルは、カーソル位置が属する区画・行・列にすでに 3 種類のタイルが入っています。このことから、カーソル位置に入るタイルは残る一種類と決まります（紫顔と決まる）。

解き方と考え方

区画・行・列を個別に眺めると、それぞれのマス目は 4 個で同じタイルは入ることはありません。すなわち、4 種類のタイル一種類ずつ入ることになります。

すなわち、区画・行・列を個別に眺め 3 種類のタイルが入っていれば 残る一種類が決まります。

ナンプレのルールに沿った考え方で解くと上記のような方法になるのですが、実際に問題を解く場合は不足のタイルを探して解くのは難しく、発想を転換して「このタイルはここにしか入らない」

タイルを探す方法で解きます。

各区画に注目することで上図のように 6 個のタイルが入ります。（次ページで解説）

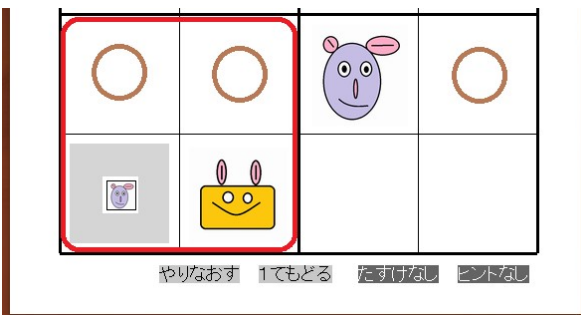
① 区画に注目して解く



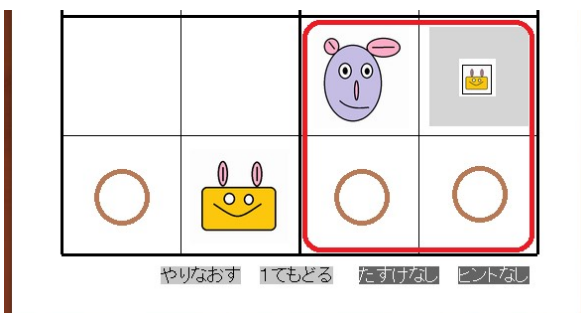
左上位置にある赤枠で囲まれた区画に注目します。2行目に三角顔があるために丸が書かれたマス目には三角顔が入りません。すなわち、カーソル位置に入るのは三角顔と決まります。



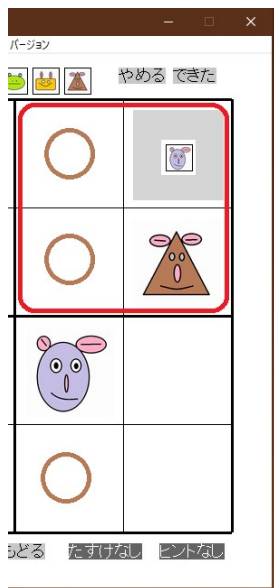
右上位置にある赤枠で囲まれた区画に注目します。1行目にカエル顔があるために丸が書かれたマス目にはカエル顔が入りません。すなわち、カーソル位置に入るのはカエル顔と決まります。



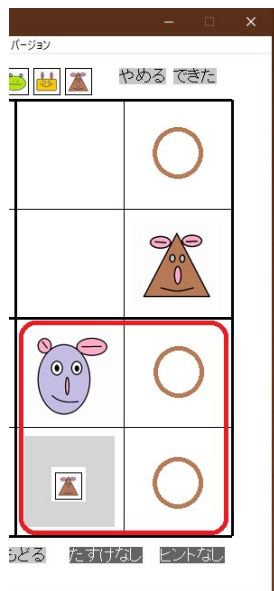
左下位置にある赤枠で囲まれた区画に注目します。3行目に紫顔があるために丸が書かれたマス目には紫顔が入りません。すなわち、カーソル位置に入るのは紫顔と決まります。



右下位置にある赤枠で囲まれた区画に注目します。4行目に四角顔があるために丸が書かれたマス目には四角顔が入りません。すなわち、カーソル位置に入るのは四角顔と決まります。

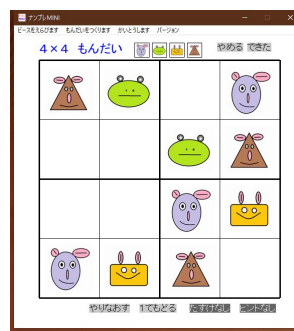


右上位置にある赤枠で囲まれた区画に注目します。3列目に紫顔があるために丸が書かれたマス目には紫顔が入りません。すなわち、カーソル位置に入るのは紫顔と決まります。

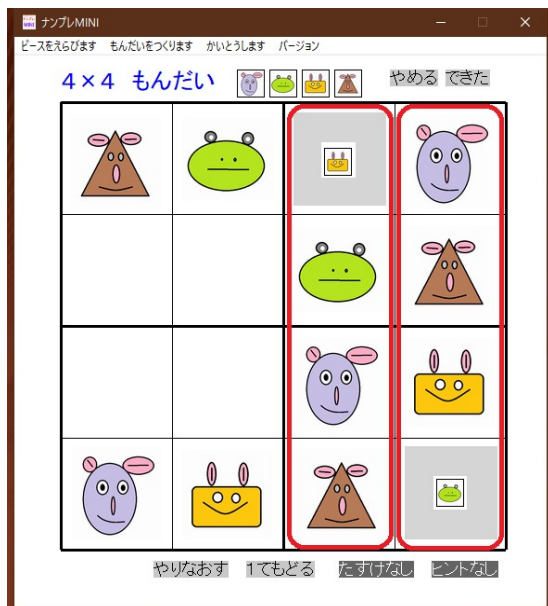


右下位置にある赤枠で囲まれた区画に注目します。4列目に三角顔があるために丸が書かれたマス目には三角顔が入りません。すなわち、カーソル位置に入るのは三角顔と決まります。

ここまで埋まりました



② 1マスだけ不足する行・列に注目して解く



一マスだけ不足する行はありませんので列に注目します。

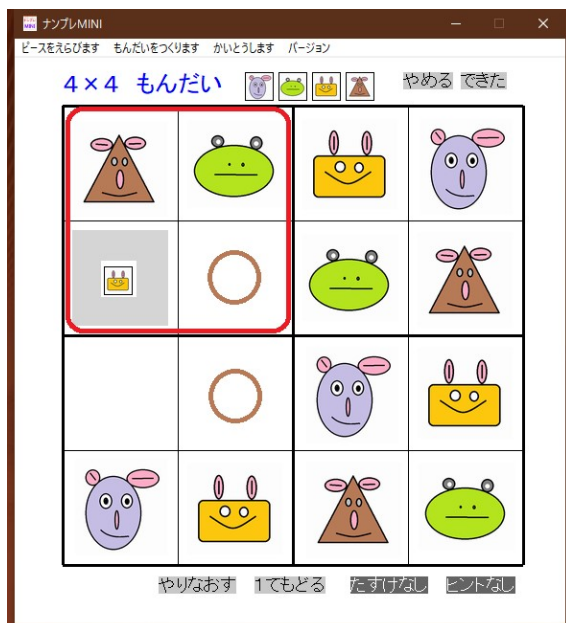
3列目に注目すると四角顔が不足しているので四角顔に決まります。

4列目に注目するとカエル顔が不足しているのでカエル顔に決まります。

ここまで埋まりました。

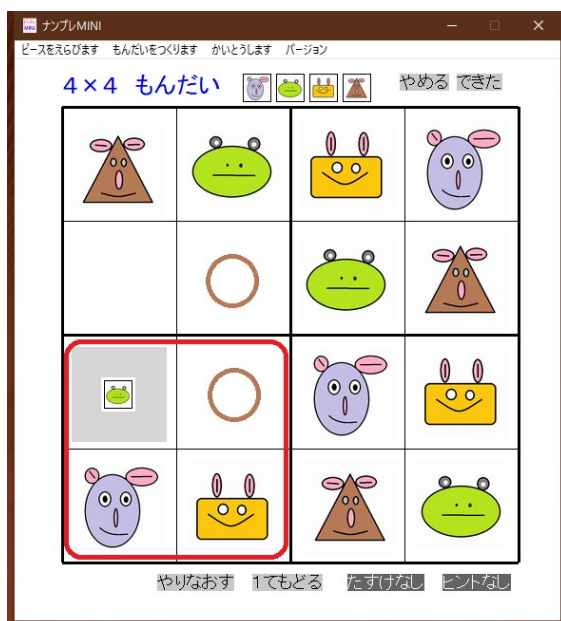


③ 再び区画に注目して解く



左上位置にある赤枠で囲まれた区画に注目します。2列目に四角顔があるために丸がかれたマス目には四角顔が入りません。すなわち、カーソル位置に入るのは四角顔と決まります。

残ったマス目は紫顔と決まります。



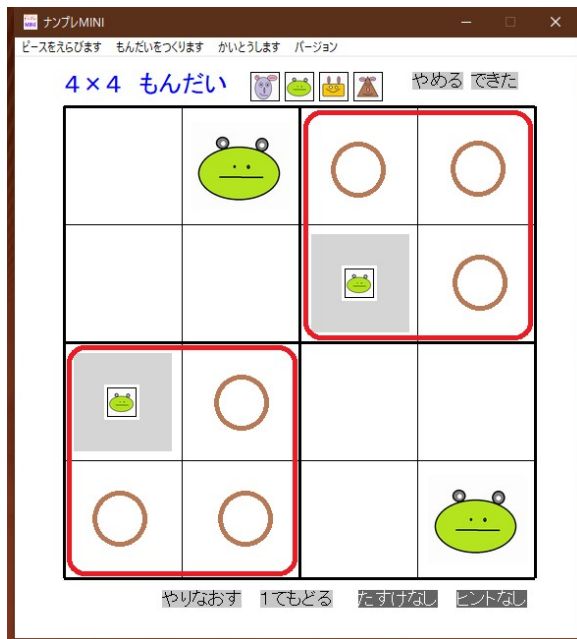
左下位置にある赤枠で囲まれた区画に注目します。2列目にカエル顔があるために丸がかれたマス目にはカエル顔が入りません。すなわち、カーソル位置に入るのはカエル顔と決まります。

残ったマス目は三角顔と決まります。



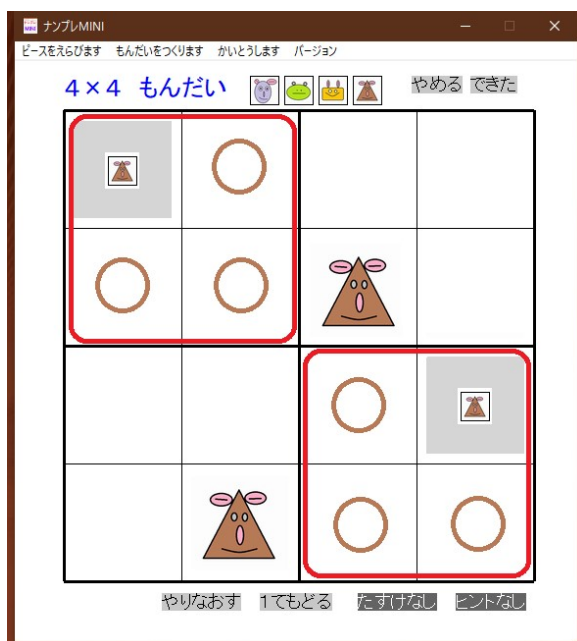
すべて埋まれば右上のボタン「できた」を押せば解答結果と解答に要した時間が表示されます。

◎ 盤面上の対角位置にある区画に同じ絵柄がある場合



左上と右下の区画に同じ絵柄があると、赤枠で囲まれた右上と左下の区画の丸の位置には同じ絵柄が入らないので、同じ絵柄が入る位置が決まります。

このことは、丸が書かれたマス目や空白のマス目に他の絵柄が入っていても上記のことは成り立ちます。



同様に、右上と左下の区画に同じ絵柄があると、赤枠で囲まれた左上と右下の区画の丸の位置には同じ絵柄が入らないので、同じ絵柄が入る位置が決まります。